

# 令和8年度当初予算主要事業

(令和7年度第1次2月補正予算含む)

## I 喫緊の課題である物価高への緊急対応

- 1 県民の暮らしの支援
- 2 事業者への支援

## II 令和6年能登半島地震 及び令和6年奥能登豪雨への対応

- 1 暮らしとコミュニティの再建
- 2 能登の特色ある生業の再建
  - (1) 中小企業等への支援
  - (2) 農林漁業者への支援
  - (3) 観光産業の再建
- 3 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり
- 4 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり
- 5 創造的復興リーディングプロジェクトの推進

## III 成長戦略の実現に向けた諸施策

- 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり
  - (1) 産業のDX推進
  - (2) 産業のGX推進
  - (3) 産業を支える人材の確保・育成
  - (4) 新事業・新産業の創出
  - (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
  - (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
  - (7) 戦略的な企業誘致の推進
- 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり
  - (1) 農業生産構造の強化
  - (2) 持続可能な農業の体制づくり
  - (3) 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
  - (4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
  - (5) 持続性のある水産業の実現

## 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- (1) 個性と厚みのある文化の創造と発展
- (2) スポーツを通じた活力の創造
- (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- (4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大
- (6) 個性豊かな地域づくり
- (7) 世界に開かれた国際交流の推進
- (8) 大規模プロジェクトの推進

## 4 石川の未来を切り拓く人づくり

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

## 5 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現

## 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- (2) 安心して快適に暮らせる地域づくり
- (3) 持続可能な循環型社会づくり
- (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

## 7 デジタル活用の推進

- (1) デジタル活用の基盤整備
- (2) 社会全体のDX推進

## 8 カーボンニュートラルの推進

- (1) 幅広い産業分野におけるGX推進
- (2) 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
- (3) 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
- (4) カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

## 9 効率的・効果的な行財政運営の推進

- (1) 県民の視点に立った行政サービスの提供
- (2) 県政を担う人財の確保・育成と多様な働き方の推進

## I 喫緊の課題である物価高への緊急対応

(以下の金額は令和7年度第1次2月補正予算)

### 1 県民の暮らしの支援

- － 一般家庭向け水道料金の負担軽減 15億円  
⑤市町を通じた基本料金の無償化(2か月→4か月に延長)
- － ⑨ 公費負担による県立高校生徒の1人1台端末の更新 10億6,900万円
- － ⑨ 県内金融機関と連携した地域のキャッシュレス化と地元消費の拡大 7億900万円  
5金融機関と連携し、県内で利用できるデジタル地域通貨を給付(7千円相当)
- － 電気自動車等の普及促進 5,150万円  
電気自動車等の購入、住宅用充電設備設置への支援  
(EV・PHV:15万円/台、FCV:30万円/台、充電器:2.5万円/台)
- － ⑨ 宅配ボックスの普及促進 1,300万円  
再配達にかかるCO2排出削減に向けた宅配ボックス購入に対する支援  
(個人宅:最大5千円、集合住宅:最大5万円)

### 2 事業者への支援

- － 災害対策特別融資の利率(1.0%)据え置きによる被災事業者支援 12億円  
利率据え置きに伴う後年度負担を中小企業金融支援基金に積立
- － 持続的な賃上げに向けた事業者への緊急支援 10億6,000万円  
⑨ 伴走支援体制の構築(ワンストップ窓口の開設、セミナーの開催)、  
⑨ 収益力強化に向けたハード・ソフト両面への支援(最大600万円)、  
生産性向上につながる設備投資等への助成(国の助成制度への上乗せ支援)
- － 農業者の経営安定化に向けた支援 3億円  
⑨ 高温等気象災害対策に資する生産設備の導入補助
- － 県立病院の収支改善(一般会計繰出) 21億円  
給与改定に伴う人件費増や不採算部門(救急・周産期医療等)への対応

## Ⅱ 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨への対応

### 1 暮らしとコミュニティの再建

- ・ 被災者の生活支援
  - － 被災者の見守り、専門機関等と連携した各種支援 3億6,426万円  
 みなし仮設住宅入居者等への個別訪問、  
 健康相談・健康教室、介護予防支援、食生活支援、こころのケアなどの実施
  - － 高齢者世帯等の見守り強化【復興基金(市町)】 5,400万円  
 仮設住宅の高齢者世帯等における緊急通報システム設置への支援
  - － 災害救助法に基づく応急救助 81億7,000万円  
 建設型応急仮設住宅の供与、住宅の応急修理など
  - － 仮設住宅の維持管理に対する支援【復興基金(市町)】 3億1,500万円  
 共用施設における光熱水費等の維持管理費への支援
  - － 被災地域の防犯灯の管理支援【復興基金(市町)】 1,400万円  
 住民が2割以上減少した自治会等が所有・管理する防犯灯の電気料金支援
  - － 仮設住宅・復興公営住宅における自治組織への支援【復興基金(市町)】 1,800万円  
 新たに自治会等を設立する際の経費や運営費への支援(最大20万円)
  - － 仮設住宅からの移転に対する支援【復興基金(市町)】 4,500万円  
 集約・撤去等に伴う移転費用の支援(最大20万円/世帯)
  - － 子どもの居場所づくり活動の促進 500万円  
 市町や民間支援団体との連携強化に向けたネットワーク会議の開催、  
 ⑧複数の団体が協働で行う活動への支援
  - － スポーツ医・科学の知見を活かした被災者の健康維持 400万円  
 国のハイパフォーマンススポーツセンター、日本体育大学等と連携した  
 被災者の健康増進プログラムの実施
  - － 被災者データベースの運用【復興基金(県)】 9,900万円
- ・ 住まいの再建支援
  - － 恒久的な住まいの再建に向けた支援【復興基金・復興支援交付金】 45億円  
 新築・購入(200万円)、修繕(100万円)に対する支援  
 (新築・購入の場合は、既存制度とあわせて1,000万円超の支援)
  - － 被災者生活再建支援法に基づく支援(都道府県拠出基金で対応)  
 国制度による生活の安定化や住宅の再建・修理など  
 (全壊・半壊解体:最大300万円、大規模半壊:最大250万円、  
 中規模半壊:最大100万円)
  - － 県独自の被災者生活再建支援制度に基づく支援 7億8,725万円  
 半壊世帯への支援(最大100万円)
  - － 国の交付金(地域福祉推進支援臨時特例給付金)を活用した半壊以上の世帯への支援  
 (一部2月1次補正) 72億9,496万円  
 家財等の取得や住宅再建の支援(最大300万円)
  - － 住宅再建を行う半壊以上の子育て世帯等への支援【復興基金(県)・復興支援交付金】  
 7億5,000万円  
 住宅融資の利子への助成(最大300万円)







- － 住宅再建に係る二重ローン対策【復興基金(県)】 1,500万円  
既存住宅融資の利子への助成(最大50万円)
- － 恒久的な住居への転居費用等の支援【復興基金(市町)】 3億8,800万円  
民間賃貸住宅への入居時の契約初期費用(20万円／世帯)、  
公営住宅への入居時の初期設備費用(10万円／世帯)、  
自宅や民間賃貸住宅等への転居費用、みなし仮設住宅・公営住宅から  
建設型応急仮設住宅への移転費用(10万円／世帯)
- － ⑨ 復興公営住宅の家賃無償化に対する支援【復興基金(県)】 4,000万円  
被災者の入居後3年間における家賃を県が全額支援(総額27億円程度)
- － 住宅再建の相談支援・情報発信【復興基金(県)・復興基金(市町)】 5,800万円  
専門的な相談受付窓口の設置、個別訪問・聞き取り等の実施、  
⑨ 仮設団地や復興モデル住宅での住まいの出張相談会の開催、  
被災者の生活再建に関する広報や広域避難者への情報提供など
- － ⑨ 被災宅地の流通活性化【復興支援交付金】 2,490万円  
被災した土地の売却に要する宅建業者への仲介手数料等の支援
- － 住まいの確保に向けたきめ細かな支援体制の構築 1億7,000万円  
⑨ 生活再建支援アドバイザーの増員による伴走支援体制の強化(12人→16人)  
⑨ 居住支援法人による住宅確保要配慮者への賃貸住宅仲介に対する支援
- － 民間賃貸住宅での住まい再建【復興支援交付金】 7,500万円  
奥能登4市町と協調した民間賃貸住宅の建設への支援
- － 住宅応急修理工事の促進【復興基金(県)・復興支援交付金】 8,000万円  
地元市町以外の工事業者に依頼する場合の追加費用の負担軽減
- － 市町営住宅の空室利用の促進【復興基金(市町)】 200万円  
被災者の入居に向けた修繕費用への支援
- － 宅地復旧等の促進【復興基金(市町)・復興支援交付金】 34億6,300万円  
擁壁・地盤・宅地法面等の復旧、住宅の地盤改良・傾斜修復への支援
- － 土地境界再確定加速化プランに基づく地籍調査の促進 2億8,522万円  
金沢市、羽咋市、かほく市、内灘町
- － ⑨ 側方流動の被害を受けた宅地の境界復元の推進【復興基金(市町)】 2,500万円  
境界再確定の妨げとなるブロック塀等の移設への支援(最大100万円)
- － 住宅再建時の県産材活用への支援(いしかわ森林環境税事業) 2,000万円  
助成額を倍増するなどの特例措置(最大50万円→100万円)
- － 土砂災害特別警戒区域内の被災住宅の再建支援【復興基金(市町)】 7,300万円  
区域指定前から居住する世帯(半壊以上)の移転等への支援(最大300万円)
- － ⑨ 建設型応急仮設住宅の空き住戸の有効活用【復興基金(市町)】 1,800万円  
中長期派遣職員等の住まいとして活用する空き住戸のリース費用に対する支援
- ・ 地域コミュニティの再建支援
  - － 能登官民連携復興センターによる復興支援【復興基金(県)含む】 5億950万円  
復興に取り組む地域団体等に伴走し全国からの支援をコーディネート、  
能登復興応援基金を活用した地域の復興活動への支援
  - － 能登官民連携復興センターを核とした中間支援機能の強化【復興応援基金】 7,700万円  
ノウハウを有する支援組織と連携した地域での支援体制の構築

- － クラウドファンディングを活用した復興支援【復興応援基金】 3,750万円  
創造的復興に向けた取り組みに対する資金調達への支援、相談窓口の設置
- － 復興に取り組む地域団体等の中核的な人材の確保【復興応援基金】 1,300万円  
全国の求職者を対象とする大手求人サイトへの掲載等に対する支援
- － 地域コミュニティ活動による被災者の孤立防止 2億9,500万円  
仮設住宅や集落等における交流会やイベント開催への支援
- － 能登の文化団体の活動再開支援【文化復興基金】 2,000万円  
体験会の開催や用具の修理等への助成(最大25万円)など
- － 石川ユナイテッドと連携した被災者支援 800万円  
トップスポーツチームによる小学校等でのスポーツ体験会の開催
- － 広域避難者への情報発信の強化 2,250万円  
みなし仮設・公営住宅等への支援情報の発信、県外での相談会・交流会の開催、  
⑨県外避難者向けの能登ふるさとバス(一時帰還バス)の参加支援
- － 奥能登地域の障害者支援体制の強化【復興支援交付金】 660万円  
専門家による相談対応、2市2町の相談支援体制の強化に向けた支援
- － 地域コミュニティ施設等の再建支援【復興基金(市町)・復興支援交付金】 16億1,800万円  
地域で管理する集会所や寺社等の建替・修繕への助成  
(補助率3/4、上限1,200万円)
- － 建設型応急仮設住宅の利活用支援【復興基金(市町)】 4,500万円  
地域コミュニティ施設等として活用する際の整備への支援
- － 自治公民館の再建支援【復興基金(市町)】 200万円  
自治会等が所有・管理する施設の建替・修繕への助成(補助率2/3)
- － 地域水道施設の復旧支援【復興基金(市町)】 2,900万円  
自治会等が所有・管理する水道施設の復旧支援(補助率2/3)
- － 生活道路の復旧支援【復興基金(市町)】 5,600万円  
自治会等が管理する道路の復旧支援(補助率2/3、上限1,200万円)
- － 集落の共同墓地の復旧支援【復興基金(市町)】 3,200万円  
通路や擁壁など共有部分の復旧支援(補助率1/2、上限1,200万円)
- ・ 祭りや文化財の再建
  - － 能登の祭りの再開支援【文化復興基金】 1億2,500万円  
開催経費や用具の修理・新調等への助成(3年間で最大150万円)、  
担ぎ手や運営補助のボランティアを「祭りお助け隊」として派遣
  - － 文化財レスキュー事業【復興基金(県)】 1,600万円  
救出した被災文化財の応急処置、一時保管、所有者への返却
  - － 民間所有の文化財の復旧支援【復興基金(県)・復興支援交付金】 4億8,000万円  
国・県・市町の補助制度に加えた支援による所有者負担の更なる軽減  
(国・県・市町指定、国登録、国選定:補助率2/3、未指定:補助率1/2)

## 2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

### (1) 中小企業等への支援

- ・ 事業の再開・継続に向けた支援
  - － 被災事業者の施設・設備の復旧に対する支援(なりわい再建支援補助金)(最大15億円)  
269億2,000万円
  - － 被災事業者の営業再開支援【復興基金(県)・復興支援交付金】 8億8,000万円  
早期再開に向けた仮施設整備に対する支援(最大300万円)
  - － 被災事業者の事業継続支援【復興支援交付金】 2億円  
小規模事業者に対する持続化補助金への上乗せ(200万円→300万円)
  - － 経営環境の急激な変化に対応する新たなチャレンジへの支援【復興支援交付金】  
6億1,000万円  
異業種や新分野への進出等に対する支援(最大300万円)
  - － 商店街の事業再建への支援(2月1次補正) 1億2,262万円  
施設復旧(上限なし)、賑わい創出イベント等(最大100万円)に対する支援
  - － 商店街等の街路灯の管理支援【復興基金(市町)】 100万円  
事業者が2割以上減少した商店街等が所有・管理する街路灯の電気料金支援
  - － 仮設商店街等の整備支援【復興基金(市町)】 4,400万円  
整地費や借地料等への支援(補助率10/10、上限1,200万円)
  - － 県指定・稀少伝統的工芸品への支援【復興基金(県)】 2,000万円  
製造に必要な道具・原材料費等に対する支援(最大1,000万円)
  - － 輪島塗「漆芸の聖地プロジェクト」の推進【復興支援交付金】 1,497万円  
⑨特別展「輪島塗－漆文化を後世に－」の開催(県立美術館)
  - － 被災酒蔵の事業継続支援 2,500万円  
被災酒蔵を受け入れ共同醸造を行う酒蔵に対する支援など
- ・ 伴走支援体制の強化
  - － 能登事業者支援センターの体制強化【復興基金(県)・復興支援交付金】 1億1,870万円  
⑨再建計画の見直しや資金繰りを含む金融相談に対応できる専門家の常設配置
  - － 被災地の支援機関の体制強化【復興基金(県)】 2,000万円  
奥能登2市2町の商工会・商工会議所の職員増員への支援
  - － 専門家派遣の充実(派遣枠6,000回)(一部2月1次補正) 2億90万円  
被災事業者は派遣回数上限なし
- ・ 資金繰りの支援
  - － 災害対策特別融資制度 融資枠 750億円  
無利子(借入当初5年間)、信用保証料の免除、  
金利上昇局面でも6年目以降の融資利率(1.0%)を据え置き
- ・ 求人・求職マッチングの推進
  - － 被災事業者の人材確保、被災者の就労支援【復興基金(県)・復興支援交付金】 5,571万円  
ILAC能登による求人開拓・職業紹介、  
新規雇用者等を対象に実施する職業訓練の支援
  - － 在籍型出向の促進【復興支援交付金】 2,100万円  
国の助成制度に呼応し、出向準備への支援を拡充(出向元・出向先)

- ― 被災地(和倉温泉)の雇用維持支援【復興支援交付金】 750万円  
七尾市の緊急雇用創出事業への支援
- ― 能登での副業・兼業人材の活用促進【復興支援交付金】 4,056万円  
副業等人材の活用に対する支援(紹介手数料、報酬)、  
能登に出張滞在する「能登応援副業社員」の交通・宿泊費への支援
- ― 被災地における復興業務の担い手確保【復興基金(県)・復興支援交付金】 2億円  
高齢者・障害者等が「能登復興推進隊」として復興に資する業務に従事
- ・ 新たな産業の担い手支援
  - ― 能登起業チャレンジ応援プロジェクトの推進 5億3,200万円  
能登での起業準備講座の開催、地域おこし協力隊(3名)による伴走支援、  
施設整備等に対する支援(最大300万円)、  
コンテナハウス型の長期滞在施設(のと里山空港敷地内)の運営
  - ― 能登への県外スタートアップの誘致 3,900万円  
新技術・新サービスの現地での実用化に向けた実証・試作等への支援など
  - ― 事業承継の推進 400万円  
後継者不在の事業者に対する事業承継意向調査の実施、  
能登事業承継特設サイトを通じた事業承継のマッチング支援
- ・ 応援消費の促進
  - ― 首都圏アンテナショップを核とした応援消費の促進 1,700万円  
JR主要駅等での販売会や他県アンテナショップ連携イベントの開催
  - ― 県産農林水産物等の応援消費の促進 4,000万円  
県産米等の魅力を発信する復興フェア、レストランフェアの全国拡大など

## (2) 農林漁業者への支援

- |   |   |            |
|---|---|------------|
| ー | 機械・施設等の修繕・再取得に対する支援(事業者負担1/10)<br>畜舎、トラクターなど  | 36億7,600万円 |
| ー | 畜舎の立地基盤の整備に対する支援<br>山地等に立地する畜舎用地の整地費用への支援(1/2)  | 6,000万円    |
| ー | 奥能登地域における営農再開の促進【復興支援交付金含む】<br>中小・零細農家等の集落ぐるみの営農再開・継続支援(最大3万円/10a)、<br>生産性向上の取組支援(最大300万円/取組、3年間)など | 4億8,100万円  |
| ー | 営農再開に向けた環境整備に対する支援【復興基金(県)・復興支援交付金】<br>集落における水路等の小規模修繕への支援など  | 1億300万円    |
| ー | 農林水産業ボランティアや農業専門人材の派遣【復興基金(県)含む】<br>草刈りや泥上げ、田植え・稲刈りに係る機械操作の支援                                       | 2,601万円    |
| ー | 操業を再開した漁業者に対する支援【復興基金(県)】<br>漁獲物のかなざわ総合市場への運送費への支援(事業者負担1/2)  | 3,750万円    |
| ー | ⑧ 地震による沖合漁場への影響調査<br>漁業調査指導船「白山丸」による底びき網漁場の海底地形や資源量の調査  | 680万円      |
| ー | ⑨ 海女漁再建に向けた支援<br>流入木の除去や海藻の増殖などの藻場保全活動への支援  | 350万円      |

- － 能登の林業復興に向けたアテの活用(森林環境譲与税事業) 200万円  
苗木生産への支援、能登の小学生等による植樹イベントの実施
- － 県産農林水産物等の応援消費の促進(再掲)
- － 住宅再建時の県産材活用への支援(再掲)

### (3) 観光産業の再建

- ・ 能登の本格的誘客再開に向けた取り組み
  - － 「今行ける能登」への誘客促進  
のと里山空港を活用した「能登復興応援ツアー」の実施 1億460万円  
 ⑧学校、旅行会社を対象とした震災学習プログラム現地研修会の開催 550万円  
 ⑧ポケモン・ウィズ・ユー財団と連携した「能登応援プロジェクト」 5,350万円  
 ポケモンの世界観を体感できるのと里山空港へのリニューアル、  
 ポケモンを活用した能登周遊スタンプラリーの実施
  - － 市町の観光振興への総合的支援【復興基金(市町)・復興支援交付金】 6億1,200万円  
 観光拠点の整備や国内外からの誘客につながる取り組みへの支援  
 (補助率10/10(市町による民間事業者等への補助事業の場合1/2))

## 3 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

- ・ 医療体制等の強化
  - － ⑧ 奥能登新病院の設立に向けた準備  
 新病院とサテライト医療機関の整備にかかる基本構想の策定 2,000万円  
 一部事務組合(県・4市町)の設立に向けた協議会の設置 300万円  
 医療人材の確保 2,790万円  
 県立看護大学及び県立中央病院との連携による人材育成・確保プログラムの  
 立ち上げ、総合診療医・救急医を目指す医学生への修学資金の貸与、  
 医療従事者(理学療法士等)への奨学金返還助成
  - － 被災地における看護師の確保 800万円  
 ⑧全国からの応援看護師に対する移動・滞在への支援など
  - － DMAT・DPATと連携した災害医療体制の強化 673万円  
 養成研修の実施、国主催研修・訓練への参加
  - － DWATの人材育成・運営体制の強化 1,000万円  
 養成研修の実施、⑧派遣調整等を行う専任職員の配置
  - － 災害時における保健師の対応力の向上 150万円  
 県・市町保健師に対する実践的な演習を交えた研修の実施
  - － 災害時における薬剤師の対応力の向上 253万円  
 災害薬事コーディネーター・災害支援薬剤師の養成研修の実施
  - － 社会福祉施設の災害対応力の強化 1,740万円  
 ⑧改定した防災計画作成指針の解説のためのセミナーの開催、  
 ⑧市町と各施設が連携した机上訓練の実施



- ・ 学びの環境の再建
  - － 被災児童生徒の学びの確保【復興基金(県)含む】 4,307万円  
通学方法の変更を余儀なくされた生徒のための通学費給付、  
家屋に被害を受けた世帯に対する授業料や入学手数料等の減免など
  - － 被災児童生徒のこころのケア 3,705万円  
スクールカウンセラーの増員
  - － 被災した県立高校の部活動支援 640万円  
学校外の体育館・グラウンド等で部活動を実施するための移動費への支援
  - － 県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育
    - 奥能登5校における取り組みの推進 3,500万円  
地域を越えた交流活動、㊦復興探究コーディネーターの配置(2人→3人)
    - 他地域の高校における取り組みの推進 2,500万円  
能登でのフィールドワークを通じた防災教育、  
㊦県内外の高校生による防災シンポジウムの開催など
  - － 高校生による被災地でのボランティア活動の推進 200万円  
㊦NPO法人等と連携し、県内高校生の活動機会を提供
  - － ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(一部2月1次補正) 3,688万円  
㊦能登地域の高校に対する金沢地域の高校の補習の同時配信
  - － 奥能登地域の県立高校5校の魅力向上 350万円  
小規模校における学びの質の保障と特色ある学校づくりに向けたワーキング  
グループの開催など
  - － ㊦ 災害時学校支援チームの設置 250万円  
災害時の学校運営に関する専門的知識と実践的対応力を備えた教職員を  
養成(100人程度)
  - － 県立学校体育館への空調設備の計画的な整備 12億6,400万円  
避難所としての環境改善と授業・部活動における熱中症対策  
(実施設計:16校、工事:9校)(R10年度末までに全校完了)
  - － 被災地の子どもの自然体験活動の充実【復興基金(県)】 400万円  
国立能登青少年交流の家と連携した小・中学生向けキャンプ等の実施
  - － ㊦ 能登少年自然の家での小・中学生を対象とした震災学習の推進 400万円  
休館からの再開を機に、震災遺構や語り部等を活用したプログラムを提供
  - － 輪島漆芸技術研修所復興に向けた研修環境の充実 債務を含め 15億9,360万円  
寄附金を原資とする基金を活用した寄宿舍の整備(㊦工事着手)や  
教材・用具購入、研修生に対する奨学金の支給など
- ・ 被災地での警察活動の充実・強化
  - － 被災地での防犯活動の強化【復興基金(県)・復興支援交付金】(一部2月1次補正) 1億9,351万円  
㊦輪島警察署穴水庁舎を活動拠点とする「奥能登治安対策センター」の設置、  
防犯カメラの設置・運用(775台)

#### 4 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

- ・ 自助・共助による地域防災力の向上

- － ⑨ 県民一人ひとりの防災意識の向上に向けた普及啓発の強化 2,000万円  
日頃からの備えや災害時の行動などをまとめた防災ハンドブック・動画の作成
- － いしかわ防災フェアの開催(2月1次補正) 1,200万円  
体験型ブースなどによる防災PR(加賀・能登・金沢)
- － 住宅の耐震化促進【復興基金(市町)含む】 3億3,925万円  
被災住宅や耐震性が不足する住宅の耐震改修等への支援(最大210万円)
- － ⑨ 住宅の耐震化促進のための基金の追加造成(地震災害対策緊急整備基金)(2月1次補正) 10億円
- － 地震に伴う火災防止対策の促進 1億1,340万円  
住宅における感震ブレーカー設置への緊急支援、  
⑨木造県営住宅における感震ブレーカー設置
- － 自主防災活動の要となる防災士の育成強化・資質向上 4,550万円  
⑨防災士の活動実態調査、⑨実践的な避難所運営研修の実施、  
大学と連携した学生防災士の育成など
- － 自主防災組織の機能強化【復興基金(市町)・復興支援交付金】 2,200万円  
資機材の整備や訓練実施等への支援
- － 外国人住民の防災対応力強化 200万円  
⑨防災ガイドブックを活用した外国人住民向け防災講座の開催
- － 災害時のボランティア体制の強化【復興基金(県)】 300万円  
災害ボランティアセンターの運営支援を行うコーディネーターの養成研修など

- ・ 災害対応力の基盤強化

- － ⑨ 県職員の災害対応力・防災意識の向上 900万円  
首長向けトップセミナーの開催、全職員を対象とする階層別研修の実施
- － ⑨ 実動機関と連携した図上訓練の実施 600万円
- － 災害対応体制の強化に向けた県庁舎の改修 9,000万円  
災害対策本部室の拡張、実動機関等の執務スペースの新設など(⑨実施設計)
- － 災害時に備えた通信手段の多重化 債務を含め 29億600万円  
防災行政無線(衛星系)の更新(工事)
- － 市町と連携した避難状況の迅速かつ的確な把握体制の構築 2,200万円  
⑨全市町における避難所管理システム導入への支援
- － ⑨ 地震被害想定を踏まえた避難者用備蓄の増強(10万食→12万食、品目の見直し)、  
災害対応職員用備蓄の整備 700万円
- － 避難所の良好な生活環境確保に向けた資機材整備(2月1次補正) 1億800万円  
非常用電源車、簡易トイレ、エアーマットなど
- － 津波浸水想定の見直し 4,500万円  
国の海域活断層の長期評価や地震による地形変動を踏まえた見直し
- － ⑨ 防災・減災対策アドバイザリー会議の設置 100万円  
検証結果のフォローアップ、防災対策の充実に向けた最新の知見からの提言
- － 指定避難所等の機能強化【復興基金(市町)・復興支援交付金】 2,600万円  
夜間照明や簡易ベッド、間仕切りなどの設備整備への支援

- 市町の防災体制の強化【復興基金(市町)】 100万円
    - 市町の災害時受援計画の策定・改定への支援
  - 県立学校体育館への空調設備の計画的な整備(再掲)
- ・ 公共施設等の復旧
  - 公共土木施設(道路、河川、港湾、砂防など)(一部2月1次補正)
    - 債務を含め 1,934億2,392万円
    - 奥能登への主要アクセスルートの復旧(国道249号、珠洲道路など)、
    - 水位周知河川の復旧(河原田川など)、港湾施設の復旧(輪島港など)など
  - 農林水産業施設(農地、林道、漁港施設など)(一部2月1次補正)
    - 債務を含め 342億7,353万円
    - 営農再開に向けた農地等の早期復旧、漁港施設の復旧(石崎漁港など)など
  - ⑧「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」に基づく河川の機能強化 1億2,903万円
    - 復旧工事と一体となった堤防・護岸の嵩上げなど(5か年でハケ川など9河川)
  - 受託による市町管理施設の復旧促進 債務を含め 102億1,006万円
    - おさよトンネル、ツインブリッジのと(中能登農道橋)、ため池など(約260箇所)
  - 港湾施設の機能強化(一部2月1次補正)(一部再掲) 12億7,065万円
    - 輪島港・飯田港・宇出津港の埋立地整備(ふ頭用地拡大等)
  - のと里山空港 15億6,100万円
  - のと鉄道(旧能登線の被災構造物撤去) 9億7,700万円
  - 社会福祉施設(高齢者施設、障害者施設、認定こども園など) 74億3,773万円
  - 県立学校等 債務を含め 141億7,200万円
    - ⑧能登高等学校鳳柳寮の移転建て替え(基本設計)、
    - ⑧教員用仮設宿舎(珠洲市内)の整備など
  - 私立学校 5億6,050万円
  - 庁舎、県民利用施設(能登産業技術専門校など)(一部2月1次補正) 22億2,679万円
  - 文化財(金沢城公園、兼六園など) 6億4,823万円
  - 交通安全施設(信号機・道路標識) 7,782万円
- ・ 災害廃棄物の処理促進
  - ⑧能登半島地震等における災害廃棄物処理に関する調査・検証 750万円
    - 市町等の対応について検証し、知見を整理
  - 災害廃棄物処理に係る市町の財政負担軽減のための基金積立(環境保全基金)
    - (一部2月1次補正) 41億3,665万円
- ・ 公共施設等の強靱化
  - 奥能登地域における幹線道路の強靱化・移動高速化 1,500万円
    - 珠洲道路、門前道路、奥能登横断道路の高規格化等に向けた調査・設計
  - 能登半島絶景海道の整備・魅力向上 10億8,785万円
    - 路肩拡幅、絶景を望む視点場の整備(⑧椿展望台、⑧能登鹿島駅付近)、
    - ロゴマーク入りの標識・案内看板設置、道の駅へのデジタルサイネージ設置など

- ー 道の駅の防災機能強化
  - 自立型トイレ等の整備(新千枚田、新ころ柿の里しかなど) 3億1,066万円
  - 能登の道の駅グリーンステーション化の推進 9,100万円
  - 民間事業者と連携した太陽光発電設備・蓄電池・EV充電器の一体的導入  
(新高松、新ころ柿の里しか)
- ー 緊急輸送道路等の整備(一部2月1次補正) 債務を含め 163億9,500万円
  - 能越自動車道(輪島道路、田鶴浜七尾道路)、
  - のと里山海道4車線化  
(柳田IC～上棚矢駄IC間、上棚矢駄IC～徳田大津JCT間)、
  - 七尾外環状道路(七尾市古府町～万行町間(新R8年夏供用))、
  - 金沢外環状道路 海側幹線(金沢市大河端町～福久町間、今町～鞍月間)、
  - 加賀海浜産業道路(白山市松本町～川北町橘間、小松市城南町～村松町間)など
- ー 抜本的な治水対策である河川改修等の促進(一部2月1次補正) 債務を含め 133億3,151万円
  - 若山川、御祓川、米町川、津幡川、森下川、犀川、鍋谷川、前川、動橋川など
- ー 新「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」に基づく河川の機能強化(再掲)
- ー 即効性のある河川の堆積土砂の除去(一部2月1次補正) 5億9,500万円
  - 計画的な堆積土砂除去の実施(県下全域24河川)
- ー 小規模河川における堤防の強化 2億4,000万円
  - 人家が連担する区間の堤防上部の舗装(5か年で県下全域26河川)
- ー 海岸侵食対策の促進(一部2月1次補正) 7億7,614万円
  - 増穂浦海岸、押水羽咋海岸、七塚海岸、金沢海岸など
- ー 金沢港港湾計画の推進 5億6,400万円
  - 新大浜心頭用地の拡大、大浜御供田線の4車線化、無量寺大野線の歩道拡幅
- ー 県水送水管の耐震化(2系統化)の促進 40億円
- ー 新 石川県耐震改修促進計画の改訂 450万円
  - 国の基本方針及び能登半島地震の状況などを踏まえた計画の見直し
- ー 農業用施設の防災対策の促進(一部2月1次補正) 12億8,750万円
  - 輪島市能納屋地区、七尾市漆沢池地区など
- ー 農林分野における復旧・復興の課題に対する調査研究 600万円
  - ため池被害、地すべり対策などの課題に係る県立大学との共同研究の実施
- ー 砂防地すべり・急傾斜地崩壊対策の促進(一部2月1次補正) 22億9,358万円
  - 中能登町井田、金沢市高尾町など
- ー 治山対策、森林整備の促進(一部2月1次補正) 30億2,757万円
  - 珠洲市岩坂地区、かほく市多田地区など
- ー いしかわ森林環境税による森づくりの推進(一部再掲) 5億4,722万円
  - 里山林における緩衝帯の整備、放置竹林の除去、県産材の利用促進など
- ー 森林環境譲与税による市町の森林整備に対する支援(一部再掲) 6,230万円
  - 市町支援アドバイザーの設置など
- ー 新 能登内浦地域・河北潟周辺地域の冠水・高潮対策 6億8,425万円
  - 護岸嵩上げ、排水ポンプ車配備、高潮浸水想定区域図の作成など

- ・ 風化防止と後世への伝承
  - － 令和6年能登半島地震犠牲者追悼式の実施 2,750万円
  - － ㊦ 令和6年能登半島地震復興祈念シンポジウムの開催(県内、大阪) 2,100万円  
創造的復興に取り組む被災地のあゆみの発信、現地エクスカーションなど
  - － 風化防止に向けた戦略的な情報発信 3,500万円  
復旧・復興の現状や進捗を伝える動画の制作・配信など
  - － デジタルアーカイブの運用 1億2,100万円  
被害や復旧・復興に関する写真・映像等の収集・編集・公開

## 5 創造的復興リーディングプロジェクトの推進

- － トキの放鳥に向けた取り組みの推進 1億4,847万円  
トキ放鳥の実施(6月上旬頃、9月頃)  
㊦放鳥式の開催(余喜グラウンドゴルフ場)  
放鳥に向けた気運醸成  
㊦放鳥直前PRイベントの開催、観察マナーの啓発など  
㊦放鳥後の定着に向けた体制整備  
県・能登9市町・専門家等からなるモニタリングチームの発足、救護体制の充実  
トキ認証米のブランド化の推進  
㊦商業施設や復興応援イベントでのPR、生産体制モデル地区の横展開など
- － 関係人口の創出・拡大  
関係人口ポータルサイト「いしかわのWa!」の利用促進 1,450万円  
㊦首都圏における「いしかわ関係人口フォーラム(仮称)」の開催、  
受入団体等によるプログラム造成に向けた人材育成など  
「いしかわサテライトキャンパス」の推進 2,230万円  
大学ゼミ等によるフィールドワークの実施(㊦高校生を対象に追加)、  
地域課題の解決に取り組む県内大学のゼミ等への支援  
(㊦デジタル技術等を活用した取り組みへの支援)  
農林水産業ボランティアなど【復興基金(県)含む】(再掲)
- － 能登駅伝の開催準備 2,800万円  
㊦「能登駅伝開催準備委員会(仮称)」の設置、㊦機運醸成イベントの実施など
- － 「のとSDGsトレイル(仮称)」の創設に向けた検討 1,100万円  
㊦基本計画の策定、㊦トレイル認知度向上のためのイベント開催など
- － 能登地域の公共交通再編に向けた取り組みの推進 200万円  
能登地域公共交通協議会における広域交通体系の検討など
- － ジオパークなど震災遺構の地域資源化に向けた取り組みの推進 900万円  
能登地域における資源調査、関係市町や地域団体との勉強会の開催
- － 産学官石川復興プロジェクト会議の開催 100万円  
創造的復興の象徴となるプロジェクトの推進
- － 能登官民連携復興センターによる復興支援【復興基金(県)含む】(再掲)
- － ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(一部2月1次補正)(再掲)
- － 奥能登地域の県立高校5校の魅力向上(再掲)
- － 県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育(再掲)

- － 奥能登地域における幹線道路の強靱化・移動高速化(再掲)
- － 能登半島絶景海道の整備・魅力向上(再掲)
- － 能登の道の駅グリーンステーション化の推進(再掲)
- － のと里山空港のリニューアル(再掲)
- － 能登の祭りの再開支援(再掲)
- － 輪島塗「漆芸の聖地プロジェクト」の推進【復興支援交付金】(再掲)
- － デジタルアーカイブの運用(再掲)

- ・ 能登創造的復興支援交付金の市町への交付 85億円  
     市町分250億円を事業実施にあわせ交付

### Ⅲ 成長戦略の実現に向けた諸施策

- ・ 石川県成長戦略「ミライカイギ」の開催 200万円  
成長戦略の実効性向上に向けた様々な分野の方々との意見交換の実施
- 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり
  - ・ 意欲ある中小企業の前向きな取り組みの支援
    - － 成長戦略ファンド(総額700億円)による支援 4億6,000万円
  - (1) 産業のDX推進
    - ・ 事業者のニーズに応じたきめ細かなデジタル人材育成
      - － デジタル活用ものづくり支援センターを拠点としたDXの取組支援 8,650万円  
ロボットの本格導入に向けた専門家派遣・トライアル実証への支援
      - － 早稲田大学を代表校とするスマートエスイーIoT／AI石川スクールの開催 4,200万円  
生成AI実践研修の開講
  - (2) 産業のGX推進
    - ・ 成長市場としてのグリーン分野への参入
      - － 春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発 3,000万円  
現地で製造する水素を活用したモビリティの体験イベントの開催など
      - － 産学官連携による炭素繊維分野の革新的な研究開発の推進 2億円
      - － 創エネ・蓄エネ分野の研究開発促進 1億円
  - (3) 産業を支える人材の確保・育成
    - ・ 学生の県内就職促進
      - － 大学生と県内企業との出会いの場の創出 6,635万円  
合同企業説明会やインターンシップマッチング交流会の開催など
      - － 「Back to ISHIKAWA／Stay ISHIKAWA」プロジェクトの推進 1,200万円  
首都圏・関西圏での交流会の開催など
      - － 県内就職促進に向けた経済的支援の充実 817万円  
奨学金返還助成制度の支援、  
都内からの就職活動・移住に対する支援(交通費、転居費)
    - ・ 社会人UIターンの促進
      - － 副業・兼業人材の活用促進 7,470万円
    - ・ 外国人材の確保・定着
      - － 外国人労働者の確保・定着支援 2,380万円  
ワンストップ相談対応、企業向けセミナーの開催、  
首都圏で開催される合同企業説明会への参加など
      - － 外国人介護人材の受入支援 1,249万円  
外国人の雇用を検討する介護事業者向けのセミナー・個別相談会の開催、  
㊦日本語能力の向上支援(学習費用支援の拡充)など

- 外国人農業人材の受入支援 50万円
      - 外国人材の活用に関心のある農業法人向けセミナーの開催
    - 技能の継承
      - 卓越した技能者の技能の次世代への継承 450万円
        - 「百万石の名工」の技能を映像としてデジタルアーカイブ化
      - 金沢産業技術専門校の建て替え(新実施設計)(2月1次補正) 1億2,900万円
- (4) 新事業・新産業の創出
  - 成長の新たな原動力となるスタートアップの創出・育成
      - スタートアップ創出の基盤構築 5,200万円
        - 大学発スタートアップ支援、スタートアップビジネスプランコンテストなど
- (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
  - 県産品の魅力・価値の向上と効果的な発信
      - 首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」での販路拡大 1億2,810万円
    - 海外への事業展開の促進とニッチトップ企業の育成
      - 海外アンテナショップの運営(シンガポール、香港、フランス) 8,600万円
        - 石川の食品・農林水産物の輸出強化 5,034万円
        - 北陸三県連携での共同PR、和歌山県・京都府と連携した共同PR、百貨店でのフェア開催、台湾の高級百貨店における石川フェアの開催
      - ニッチトップ企業の育成 1,900万円
      - 国内外でニッチトップを目指す企業に対する支援など
- (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
  - 持続可能な賃上げ環境の整備
      - 持続的な賃上げに向けた事業者への緊急支援(2月1次補正)(再掲)
    - 経営課題の高度化・複雑化に対応するための伴走支援の強化
      - 支援機関の体制強化 5,580万円
        - 伴走支援に積極的に取り組む商工会・商工会議所への経営指導員の加配
        - 専門家派遣の充実(一部2月1次補正)(再掲)
    - 円滑な事業承継の推進
      - 事業承継の推進 1,550万円
        - 商工会・商工会議所と連携した個別相談会の開催による掘り起こしなど
- (7) 戦略的な企業誘致の推進
  - 高い付加価値を生み出す労働生産性が高い企業の誘致 11億6,065万円
      - 企業立地補助制度による企業進出や増設の支援
    - 企業誘致を通じた魅力的な雇用の場の創出 3,810万円
    - IT・コンテンツ企業立地促進補助金による企業誘致の推進



## 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

### (1) 農業生産構造の強化

- ・ 水稲から園芸作物等への転換による農業所得の向上
  - － 水田園芸の推進に向けた産地への支援 1,310万円  
産地づくりに向けたプラン策定支援、新たに水田園芸に取り組む農家への支援
- ・ 農業従事者の確保・育成・定着、農業参入の促進
  - － いしかわ耕稼塾による農業人材の確保・育成(一部再掲) 3,550万円  
就農希望者等に対する技術・経営研修、  
農業高校・県立大学からの就農支援、外国人材活用に向けたセミナーの開催
  - － 移住就農希望者に対する支援 1,300万円  
就農相談会や農業法人での見学会、年間を通じたインターンシップの実施
  - － いしかわ農業参入支援ファンドによる経営支援 7,500万円  
耕作放棄地等に参入する企業・農業法人への支援
- ・ スマート農業の展開による生産性の向上
  - － スマート農業技術の普及促進 368万円  
INATOを中心とした普及・定着に向けたマッチング等の伴走支援
- ・ 農地集積・集約や農地整備による生産基盤の強化
  - － INATOを中心とした生産規模拡大に向けた支援 2億2,559万円  
貸借等の仲介による担い手への農地の集積・集約促進
  - － ほ場整備の促進(一部2月1次補正) 35億9,432万円  
輪島市尾山地区、能美市五間堂・中庄地区など
  - － 用排水施設等の整備促進(一部2月1次補正) 16億3,057万円  
川北町中島用水地区、小松市馬渡川地区など
  - － 河北潟周辺地区排水機場等の改修(一部2月1次補正) 6億336万円

### (2) 持続可能な農業の体制づくり

- ・ 環境保全型農業の推進
  - － 農業者と消費者双方の理解促進や栽培技術の普及拡大 870万円  
学校給食への特別栽培米の提供など
- ・ 畜産業の生産体制の強化
  - － 能登牛のブランド力強化 956万円  
首都圏でのプロモーション、認定店での消費拡大イベントの実施、  
シェフや仲卸業者を対象とした能登牛の生産現場見学会の開催など
- ・ 金沢競馬場の魅力向上・整備促進(公営競馬特別会計)
  - － ⑨ 第26回JBC競走の開催(R8年11月)、開催を契機とした魅力づくり・大規模広報
  - － ナイター競走・重賞競走の開催拡大や金沢美術工芸大学と連携した場内アート作品の制作
  - － 老朽化したきゅう舎の建替(3棟建築、3棟解体) 8億6,325万円

(3) 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興

- ・ 農林水産物のブランド化の更なる推進
  - － 「百万石の極み」を中心とした魅力発信と生産拡大 1億1,687万円  
県内外での「百万石の極み」フェアの開催、海外での商標の取得など
  - － 特色ある県産食材の首都圏へ向けた販路開拓 1,800万円  
シェフ・バイヤー等を対象とした「いしかわ百万石マルシェ」の開催
  - － 石川の食品・農林水産物の輸出強化(再掲)
- ・ 里山里海地域の振興
  - － 里山振興ファンド(180億円)による里山里海地域の振興 9,000万円  
地域資源を活用した商品開発や改良・販路開拓、担い手への支援
  - － 世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信 980万円  
他の世界農業遺産認定地域と連携した共同PRイベントの実施など

(4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

- ・ 県産材の利用促進
  - － 住宅の復興需要を見据えた県産材の安定供給体制の構築 150万円  
県産材の需要と供給のマッチングを図る相談窓口の設置など
  - － 住宅、民間施設の県産材活用への支援(一部再掲) 9,000万円
- ・ 林業従事者の確保・育成、定着の促進
  - － 就職希望者の確保・担い手育成(森林環境譲与税事業) 3,000万円  
高校生等を対象とした林業体験の実施、安全装備品の導入支援など

(5) 持続性のある水産業の実現

- ・ 県産魚の需要拡大
  - － いしかわの水産物の魅力発信 640万円  
首都圏の水産物商談会への出展、飲食店等と連携した旬の県産魚のPRなど
- ・ 漁業従事者の確保・育成、定着の促進
  - － 漁業就業希望者に対する総合的な支援 400万円  
就業説明会や体験乗船会、スキルアップ講習会の実施など

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

(1) 個性と厚みのある文化の創造と発展

- ・ 文化に親しむ環境づくり
  - － 前田育徳会尊経閣文庫の誘致に向けた機運醸成 2,638万円  
尊経閣文庫の価値や魅力を伝える県民向けイベントの開催、  
⑨特別展「鷹と加賀前田家」の開催(歴史博物館)
  - － 「ガルガンチュア音楽祭」の開催 6,000万円  
本県が誇る多彩な音楽文化の県内外への発信
  - － ⑨ 音楽堂開館25周年記念事業の開催 500万円  
野村萬斎氏と指揮者・山田和樹氏共演の特別公演の開催
  - － 「いしかわ舞台芸術祭」の開催【文化振興基金】 2,800万円  
国内注目の演劇・ミュージカル等の公演、体験型プログラムの実施

- － 「いしかわ秋の芸術祭 文化絢爛」の開催【文化振興基金】 5,400万円  
文化団体の発表機会の確保、子ども向け文化体験教室の実施
    - － いしかわミュージックアカデミー(IMA)の開催【文化振興基金】 2,300万円  
国内外の著名な講師陣による若手音楽家の育成など
    - － 「きらめく！アート展」の開催【文化振興基金】 500万円  
県内の障害のある人のアート作品を集めた展示会の実施
    - － 芸術大学と連携した文化・芸術に親しむ機会の充実【文化振興基金】 250万円  
東京藝術大学が養成した支援員による障害者の鑑賞支援など
    - － 県立図書館における文化・交流の機会の提供 1,600万円  
企画展や多彩なイベントの開催
    - － 茶道・華道等石川の伝統文化に関する調査の実施 300万円
  - ・ 文化遺産等の保存・活用
    - － 無形文化財登録を契機とした加賀料理の保存・活用に向けた支援 800万円  
料理人育成に向けた研修会の開催、  
㊦親子で学べる体験会の実施、茶道・菓子などと連携した魅力発信(国事業)
    - － 妙成寺の国宝指定に向けた気運醸成 200万円  
羽咋市と連携した県内各地域でのパネル展の開催、解説動画の作成など

## (2) スポーツを通じた活力の創造

- ・ 競技スポーツの振興
  - － いしかわスポーツ医・科学情報センターによるサポートの充実 1,150万円  
アスリートに対するコンディショニング指導やメンタル・栄養面の指導
  - － 競技力向上対策 2億4,073万円  
各種競技団体や中学生・高校生の競技力向上に対する支援
  - － 国際大会等での活躍が期待される次世代アスリートの育成支援 800万円  
全国トップレベルの選手を日本代表選手等に育成するための支援
  - － 日本体育大学と連携した高校生等の競技力向上 192万円  
指導者の招へい、日体大生・県内高校生の相互交流
  - － ㊦ 日本スポーツマスターズ2026石川大会の開催(8月・9月) 7,000万円
- ・ スポーツの裾野拡大・地域活性化
  - － アーバンスポーツなど多様なスポーツの振興 2,390万円  
県内各地での子ども向け体験イベントの開催
  - － 石川ユナイテッドと連携したスポーツの気運醸成 1,130万円  
各チームにおける「県民スペシャル応援デー」の開催など
  - － 相撲場の競技環境の充実 1億6,600万円  
屋内相撲場(空調整備(R8年夏完成))、  
卯辰山相撲場(救護室機能を備えた倉庫等の整備(R8年5月完成))
  - － まめだ簡易グラウンドサッカー場の整備(一部2月1次補正) 債務を含め 15億6,000万円  
多目的に活用できる人工芝化による競技環境の向上(㊦工事着手)

- ・ パラスポーツの振興
  - － パラアスリートの育成支援 250万円  
国際大会・全国大会への出場や選手強化に対する支援
  - － パラスポーツに親しむ機会の提供 700万円  
特別支援学校でのパラスポーツ教室の開催、指導員養成講習会の開催など
- (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
  - ・ 観光施策推進体制の整備
    - － ほっと石川観光プラン推進ファンドの延長 150億円
  - ・ 観光DXの推進
    - － デジタルマップを活用した戦略的誘客の推進 3,200万円  
宿泊・体験等の予約・決済が可能なデジタルマップを活用した観光客データの収集、観光客の属性や興味関心に応じたきめ細かな情報発信
    - － デジタルマーケティングを活用した観光情報の発信 1,000万円  
観光客の旅行形態等に応じた情報発信
  - ・ 北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーン
    - － JR・北陸三県連携による年間を通じた誘客推進 2,650万円  
東北直通新幹線の運行(5月)を契機とした東北でのPR活動、  
ジャパニーズビューティー北陸キャンペーン(12～3月)、  
JR主要駅等でのポスター・パンフレット配架、SNS等での情報発信
    - － 関西圏・中京圏からのマイカー旅行者の誘客促進 1,700万円  
NEXCO中日本「いしかわ宿泊商品券付きフリーパス」へのプレミアム付与、  
関西圏・中京圏でのメディアに向けた情報発信
  - ・ 多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進
    - － いしかわ文化観光推進ファンドによる支援 8,000万円  
文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までの一貫した伴走支援
    - － 観光人材の育成・連携促進 100万円  
本県の文化の価値を分かりやすく伝える専門ガイドの登録とスキルの向上
    - － 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成 300万円  
「温泉文化」知事の会によるイベント開催等の情報発信
    - － 旅行商品造成に向けた魅力づくりの促進 700万円  
地域の観光素材の旅行商品化に向けたプロモーション会議
    - － 兼六園周辺文化施設における魅力ある特別展の開催等(一部再掲) 8,167万円  
⑨「輪島塗－漆文化を後世に－」の開催(県立美術館)、  
⑩「鷹と加賀前田家」の開催(歴史博物館)、  
県立美術館等の特別展開催に合わせたイベントの開催など
  - ・ 海外誘客の推進
    - － アジアからの誘客強化 3,660万円  
メディアを活用した情報発信、現地旅行博への出展など
    - － 欧米豪からの誘客強化 3,510万円  
観光レップを活用した現地旅行会社・メディアへの情報発信など

- 外国人旅行者のニーズに対応した旅行商品の造成 1,000万円
    - 「旅ナカ」で予約・購入できる自由度の高い観光コンテンツの造成支援、  
海外大手旅行商品販売サイトへの掲載支援
  - オーバーツーリズムの予防的対策 700万円
    - 金沢大学と連携した観光客の周遊状況調査、  
外国人観光客へのSNSでのマナー啓発
  - クルーズ船寄港の促進 1,739万円
    - 海外見本市への出展など国際クルーズの積極的な誘致活動の推進
- ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進
  - アニメなどのコンテンツを活用した誘客促進 3,700万円
    - 本県ゆかりのアニメ関連企業等と連携したイベントの開催
  - 修学旅行誘致の推進(一部再掲) 1,250万円
    - 学校・旅行会社に対する誘致活動(※震災学習プログラム現地研修会の開催)
- 観光産業を取り巻く環境変化への対応の強化
  - 観光産業の再生に向けた課題解決支援 200万円
    - 温泉地の課題解決に向けた専門家の伴走支援
- 観光資源を活かした魅力ある受け地づくり
  - 千里浜海岸の砂浜再生(一部再掲) 債務を含め 5億3,320万円
    - 浚渫砂を活用した海上投入、陸上からの養浜など
  - 木場潟公園東園地の整備 2億2,257万円
    - ※第2期整備区域の実施設計、※パークPFI導入可能性調査など

(4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実

- 北陸新幹線建設費負担金 8億4,000万円
- 安心して快適に移動できる公共交通の実現
  - IRいしかわ鉄道の経営安定化のための運行支援基金への積立 4億2,927万円
    - IRいしかわ鉄道の乗継割引・運賃値上げ抑制への支援 2億5,000万円
    - IRいしかわ鉄道の設備投資への支援(電気設備更新) 6億3,257万円
    - のと鉄道運行維持への支援 7,682万円
    - のと鉄道の安全運行対策のための基金の追加造成 1億8,100万円
    - のと鉄道の設備投資への支援(車両更新) 13億2,297万円
    - 北陸鉄道線に対する沿線市町と連携した「みなし上下分離方式」による支援 3億2,559万円
    - 生活路線バス運行維持への支援 3億2,700万円
    - 運輸事業者の担い手確保に向けた支援 750万円
      - 県・業界団体による「運輸担い手確保協議会(仮称)」の設置、  
運輸の仕事の魅力発信、合同企業説明会の開催など
    - 能登地域の公共交通再編に向けた取り組みの推進(再掲)
- 幹線道路ネットワークの強化
  - 国道360号 小松・鳥越間の整備 4,200万円
    - 小松市中ノ峠町～白山市三坂町間(※設計着手)

- ・ 港湾機能の充実による利用・交流促進
    - － 金沢港港湾計画の推進(再掲)
    - － 金沢港の機能強化(一部2月1次補正) 7億2,855万円
      - 大浜国際物流ターミナルの整備(航路泊地、西防波堤)
    - － 金沢港の貨物拠点としての利用促進 400万円
      - 金沢港利用促進協議会における物流効率化の検討
    - － 七尾港の機能強化(一部2月1次補正) 1億5,099万円
      - 大田国際物流ターミナルの整備(航路泊地)
    - － 港湾施設の機能強化(一部2月1次補正)(再掲)
  - ・ 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化
    - － 航空の優位性を活かした国内線の利用促進(一部2月1次補正) 1億4,060万円
      - ㊦航空会社と連携した羽田便利用促進キャンペーンの実施、
      - ㊦「小松空港サポーターズクラブ」の搭乗特典の充実など
    - － 国際旅客便の利用促進(一部再掲) 1億230万円
      - 台北便、ソウル便、上海便、香港便を活用した双方向の旅行商品造成支援、
      - ㊦「小松空港サポーターズクラブ」の対象に国際線を追加など
    - － 国際物流拠点化の推進 3,200万円
      - 医薬品の取扱量増加に向けた展示会への出展、輸送トライアルへの助成、
      - ㊦被災地の高校生派遣によるルクセンブルクとの交流など
  - ・ のと里山空港の活性化
    - － 利用促進活動の展開(一部再掲) 1億8,000万円
      - 「能登復興応援ツアー」の実施、マイ空港意識の醸成など
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大
- ・ 一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ細かな支援による移住・定住の促進
    - － 情報発信の強化 7,829万円
      - ㊦移住ポータルサイトの機能強化(チャットボットの導入など)、
      - ㊦被災市町と連携した復興状況を伝えるセミナーの開催など
    - － 移住体験機会の提供 850万円
      - 移住体験の実施、移住体験に係る交通費等への助成
    - － 受入体制の充実 9,042万円
      - 移住支援金の交付
  - ・ 関係人口の創出・拡大
    - － 関係人口の創出・拡大(再掲)
- (6) 個性豊かな地域づくり
- ・ 旧県立図書館の解体(㊦工事着手) 債務を含め 7億3,600万円
  - ・ 金沢城公園の整備
    - － 金沢城二の丸御殿「表向」主要部の第1期整備 11億8,878万円
      - 御殿本体の躯体工事、㊦障壁画本画の制作など

- 御殿の復元状況等を発信する「見える金沢城」の取り組み等の推進 2,765万円
      - ⑨素屋根内での見学会の開催や復元状況の動画配信、
        - ⑨職人の匠の技のデジタルアーカイブ化、伝統技術体験イベントの開催、
        - ⑨天井板への記名会(R10年度以降)の参加者の募集開始など
  - 地域の魅力を活かした賑わいのあるまちづくり
    - 木場潟公園東園地の整備(再掲)
    - 無電柱化を核とした街なみ景観形成(一部2月1次補正)(一部再掲)
 

債務を含め 20億2,995万円
  - 専光寺野田線(金沢市寺町5丁目～3丁目間(⑨R8年秋供用))、  
鶴来本町通り線(白山市鶴来本町2丁目～鶴来新町間(⑨R8年夏供用))など
  - まめだ簡易グラウンドサッカー場の整備(再掲)

(7) 世界に開かれた国際交流の推進

- 世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進
    - 石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムの推進 3,365万円
    - 本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施

(8) 大規模プロジェクトの推進

- 金沢産業技術専門校の建て替え(⑨実施設計)(2月1次補正)(再掲)
  - 旧県立図書館の解体(⑨工事着手)(再掲)
  - 金沢城公園の整備(再掲)
  - 木場潟公園東園地の整備(再掲)
  - まめだ簡易グラウンドサッカー場の整備(再掲)
  - 社会福社会館の移転整備(⑨実施設計) 2億3,430万円
  - 能登北部保健福祉センターの移転整備(⑨実施設計) 9,530万円
  - 寺井高等学校敷地内での新たな特別支援学校の整備(基本設計等) 2億7,900万円
  - 両校共用の玄関や地域交流スペース、陶芸実習室の設置など

4 石川の未来を切り拓く人づくり

(1) 次世代を担う人材の育成

- 教育無償化に向けた対応
    - 高校授業料の無償化 60億1,289万円
      - 所得制限なく一律に支援(⑨私立高校上限39.6万円→45.7万円)
    - 高校の授業料以外の教育費負担軽減 6億2,506万円
      - 学用品等に係る費用の支援(⑨対象世帯を中所得層へ拡大)
    - ⑨ 公立高校等教育改革の推進(2月1次補正) 6,000万円
      - 特色・魅力ある教育の実現等を先導する拠点校の取り組みを推進するための  
基金の造成
    - ⑨ 県立高校魅力化推進室の設置
      - 県立高校の魅力化に向けた高等学校教育改革実行計画の策定など

- |   |  |            |
|---|--|------------|
| ・ | ⑧ 公立小学校の給食費の無償化  | 30億4,937万円 |
|   | 国基準額に基づく国・県折半の支援に加え、県立学校における基準超過分を県独自に負担                               |            |
| ・ | いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成  |            |
|   | － 高校生の海外留学の促進  | 2,200万円    |
|   | 企業等からの寄附金を活用した産学官連携による留学支援<br>(㊦募集枠50人→60人、㊦同窓会組織の発足)                  |            |
|   | － 県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育(再掲)   |            |
| ・ | 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成  |            |
|   | － 小・中学校における学力向上対策の推進   | 1,101万円    |
|   | 金沢大学と連携した学力向上に向けた分析・改善など   |            |
|   | － 公立学校児童生徒の1人1台端末の更新(一部2月1次補正)(一部再掲)                                   | 18億4,350万円 |
|   | 小・中学校段階の端末更新に対する基金を活用した支援、<br>㊦公費負担による県立高校の端末更新                        |            |
|   | － インクルーシブ教育の推進   | 260万円      |
|   | 特別支援学校と全日制高校の交流・共同学習の積極的な展開など  |            |
|   | － 寺井高等学校敷地内での新たな特別支援学校の整備(基本設計等)(再掲)                                   |            |
|   | － ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(一部2月1次補正)(再掲)                                     |            |
| ・ | 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり   |            |
|   | － 児童生徒への相談体制の充実  | 2億679万円    |
|   | スクールカウンセラーの配置(小・中・高校全校、㊦特別支援学校2校→全校)、<br>㊦校内教育支援センター専任教員の配置(30校→40校)   |            |
|   | － 休日の部活動の地域展開に向けた支援  | 1億5,100万円  |
|   | － ㊦ 2027いしかわ総文(全国高等学校総合文化祭)開催準備の加速                                     | 1億2,000万円  |
|   | プレ大会の開催、1年前・200日前PRイベントの開催など   |            |
| ・ | 信頼される質の高い学校づくり   |            |
|   | － 県立高校の全国募集運動部の魅力化   | 900万円      |
|   | ㊦いしかわスポーツ医・科学情報センターのサポートや専門的指導者の招へい<br>等による競技力向上や活動環境の充実               |            |
|   | － 教職員の多忙化改善の推進(一部2月1次補正)(一部再掲)   | 13億5,215万円 |
|   | スクール・サポート・スタッフや部活動指導員、教頭マネジメント支援員の配置、<br>㊦カスタマーハラスメント対策としての通話録音機器の設置など |            |
|   | － ㊦ 高校入試ウェブ出願システムの運用開始   | 4,312万円    |
|   | 出願者の利便性向上と教職員の負担軽減   |            |
|   | － 県立学校の計画的な大規模改修(鶴来高等学校など8校)   | 14億3,300万円 |
|   | － 金沢西高等学校第2グラウンドの移設(R8年夏供用開始)  | 5億7,000万円  |
|   | 校舍隣接地への移設による教育環境の向上  |            |
|   | － 県立学校体育館への空調設備の計画的な整備(再掲)   |            |
| ・ | 教員の資質・能力の向上  |            |
|   | － いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成と確保   | 1,220万円    |



- ・ 建学の精神を尊重した私学の振興
  - － 私立学校の経常費助成 36億2,229万円

(2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

- ・ 高等教育機関の多様な「学び」の推進
  - － 「学都石川」の魅力発信による県内高等教育機関の振興 360万円  
県内・県外の進路指導教員を対象とした合同キャンパスツアーの実施など
  - － 大学コンソーシアム石川を核とした「学び」の充実 1,644万円  
いしかわシティカレッジによる学生の履修機会の充実
  - － 県立大学体育館の建て替え(建築工事) 17億2,600万円
  - － 「いしかわサテライトキャンパス」の推進(再掲)

## 5 温もりのある社会づくり

(1) 安心して子どもを生み育てることができる環境の充実

- ・ 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実
  - － 結婚を希望する若者に対する出会いの機会の提供や経済的負担の軽減 3,688万円  
「あいきゅん」(縁結びist・縁結びイベント・縁結びマッチング)の運用、  
「石川しあわせ婚応援パスポート」の発行など
- ・ 安心して子どもを生み育てるための母子の健康の確保及び増進
  - － 「いしかわ妊娠・出産サポートセンター」によるサポート 1,549万円  
不安を抱える妊婦や里帰り妊婦への相談支援
  - － 不妊治療の経済的負担の軽減 1,546万円  
保険適用外の先進医療に係る費用の7割を助成
- ・ 幼児教育・保育サービスの充実
  - － 在宅育児家庭に対する支援 3,310万円  
マイ保育園を活用した妊娠期からの相談支援、  
0～2歳児を持つ在宅育児家庭に対する通園に準じた保育サービスの実施
  - － 保育士の確保対策 4億2,770万円  
①保育士・保育所支援センター(仮称)の開設、  
②潜在保育士の掘り起こしの強化、  
学生向け保育所等就職説明会の開催、修学資金・就職準備金の貸与など
- ・ 子育てに関する負担の軽減・子育て世帯への経済的支援
  - － 保育料や放課後児童クラブ利用料の無料化 1億9,546万円
  - － 子育て世帯へのプレミアム・パスポートの発行 1,218万円
  - － 乳幼児医療費助成(入院・通院ともに就学前まで) 6億円
- ・ 社会的支援の必要な子ども・家庭への支援拡充
  - － 家庭生活に困難を抱える特定妊婦や母子への支援 750万円  
一時入所先での24時間の見守り体制の整備など
  - － ヤングケアラーへの支援 2,555万円  
保護者等向け心理カウンセラーの配置、子ども向けピアサポートの実施など
  - － 子ども食堂への支援 50万円  
開設・運営のアドバイザー派遣

- － 民間団体と連携した離婚前後の親に対する支援 120万円  
養育費や面会交流の取り決めに向けた講座の開催、個別相談の実施など
- ・ 仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)の推進 578万円  
従業員21～49人企業の一般事業主行動計画策定の義務化(R8年4月～)、  
積極的に取り組む企業の表彰、企業向け男性育休取得促進セミナーの開催など
- ・ 子どもの権利保障  
－ 新「いしかわ子どもの権利基本条例」制定を契機とした子どもの権利の理解促進 400万円  
県民向けシンポジウムの開催、啓発動画の作成・発信

(2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

- ・ 介護・福祉サービスを支える人材の確保・質の向上
  - － 介護・福祉職の魅力発信 2,100万円  
小中学生向けの介護職体験イベント「キッザケアいしかわ」の開催、  
介護・福祉職への関心を促す動画の制作・配信など
  - － 多様な人材の確保(一部再掲) 8,634万円  
福祉人材センターによる就職マッチング支援、修学資金・就職準備金の貸与、  
外国人介護人材の受入支援など
  - － 働きやすい職場づくりの促進(一部2月1次補正) 3億8,220万円  
生産性向上に関する総合相談センターの設置、  
スポットワークの普及促進、ICT・IoT機器導入への助成など
  - － 介護・福祉人材の質の向上 256万円  
福祉総合研修センターで行う研修のオンデマンド化
- ・ 能登北部保健福祉センターの移転整備(新実施設計)(再掲)

(3) 全ての県民への必要な医療の提供

- ・ 地域の医療機関相互の機能分担・連携強化
  - － ドクターヘリ運航による救急医療体制の確保 3億8,796万円
  - － 奥能登新病院の設立に向けた準備(再掲)
- ・ 地域医療の確保に向けた医療従事者の確保・資質の向上
  - － 金沢大学医学類特別枠入学者への修学資金貸与 1億4,400万円
  - － 看護師不足地域の病院等に就業希望の看護学生への修学資金貸与 7,253万円
  - － 被災地における看護師の確保(再掲)
- ・ 自殺対策・ひきこもり対策などこころの健康づくり
  - － 自殺対策の推進 3,286万円
    - 自殺予防のための相談対応、
    - ⑨子ども・若者の自殺危機に対応する多職種の専門家チームの設置など
  - － 官民連携による県内全域でのひきこもり対策の推進 1,184万円
    - コーディネーターを配置したひきこもり支援拠点での相談・訪問支援など

- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- ・ 障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進
    - － 精神障害者の地域生活への移行の推進 160万円  
精神保健福祉相談員の養成講習会、「心のサポーター」養成研修の開催
    - － 障害者アートの魅力の発信 640万円  
企業や公共施設への障害者アートの貸し出し・展示
    - － ㊦ 障害者就労施設の経営安定化に向けた支援 1,400万円  
専門家による生産性向上等への伴走支援、  
施設・企業間の業務の受発注を支援するコーディネーターの配置など
    - － インクルーシブ教育の推進(再掲)
    - － 寺井高等学校敷地内での新たな特別支援学校の整備(再掲)
  - ・ 社会福祉会館の移転整備(㊦実施設計)(再掲)
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現
- ・ あらゆる分野における女性の活躍推進
    - － 女性県政会議の開催や女性県政学習バスの運行 2,524万円
  - ・ 安全・安心な暮らしの実現
    - － 生活困窮や性暴力被害など困難な問題を抱える女性への支援 1,400万円  
SNSによる相談対応、県内各地での交流会・相談会の実施など

## 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- ・ 豪雨災害を踏まえた流域治水の本格的な実践
    - － 抜本的な治水対策である河川改修等の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － ㊦「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」に基づく河川の機能強化(再掲)
    - － 即効性のある河川の堆積土砂の除去(一部2月1次補正)(再掲)
    - － 小規模河川における堤防の強化(再掲)
    - － 砂防地すべり・治山対策、森林整備の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － ㊦ 能登内浦地域・河北潟周辺地域の冠水・高潮対策(再掲)
  - ・ 災害に強いまちづくり
    - － ㊦ 除雪業務の効率化・省力化 2,000万円  
凍結防止剤自動散布システムの試行
    - － 緊急輸送道路等の整備(一部2月1次補正)(再掲)
    - － 海岸侵食対策の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － 県水送水管の耐震化(2系統化)の促進(再掲)
    - － 住宅の耐震化促進【復興基金(市町)含む】(再掲)
    - － 農業用施設の防災対策の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － 砂防地すべり・急傾斜地崩壊対策の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － 治山対策、森林整備の促進(一部2月1次補正)(再掲)
    - － いしかわ森林環境税による森づくりの推進(再掲)
    - － 森林環境譲与税による市町の森林整備に対する支援(再掲)

- ・ 自助・共助による地域防災力の向上と災害対応力の基盤強化
  - － 白山火山防災対策の推進 460万円  
スマートフォン等による登山届の提出促進、防災・救助訓練の実施など
  - － 消防力の維持・強化と質の高い救急医療体制の確保 4,435万円  
⑨中長期的な消防力のシミュレーション調査の実施、  
⑨消防団員確保に向けた先進事例調査の実施、  
急病時等の救急相談に対応する専用ダイヤル（＃7119）の運営（R8.2.1開設）
  - － ⑨ 被災者生活再建支援基金への追加拠出 4億4,000万円
  - － ⑨ 県民一人ひとりの防災意識の向上に向けた普及啓発の強化（再掲）
  - － いしかわ防災フェアの開催（2月1次補正）（再掲）
  - － 地震に伴う火災防止対策の促進（再掲）
  - － 自主防災活動の要となる防災士の育成強化・資質向上（再掲）
  - － 災害時に備えた通信手段の多重化（再掲）
  - － 市町と連携した避難状況の迅速かつ的確な把握体制の構築（再掲）
  - － 避難所の良好な生活環境確保に向けた資機材整備（2月1次補正）（再掲）

（2） 安心して快適に暮らせる地域づくり

- ・ 県民総ぐるみによる交通安全活動の推進
  - － 飲酒運転の根絶に向けた取り組みの推進 80万円  
飲酒運転根絶宣言登録制度の周知
  - － 自転車の安全で適正な利用の推進 100万円  
自転車への青切符制度導入を踏まえた高校生や外国人へのルールの周知
- ・ 犯罪のないまちづくりの推進
  - － 犯罪被害者等支援の充実 1,687万円  
各種支援につなぐコーディネーターによるワンストップサービスの提供
  - － SNS型詐欺・特殊詐欺への対策強化 354万円  
SNS型詐欺被害の中心である40代～70代に向けたSNS広告での注意喚起、  
デジタルサイネージを活用した幅広い年代に向けた特殊詐欺への注意喚起
  - － 警察施設の整備 4,479万円  
小坂町交番
- ・ 快適に暮らせるまちづくり
  - － 生活に密着したきめ細かな道路・歩道環境整備（一部2月1次補正） 21億5,861万円  
幹線道路の舗装補修、通学路等の側溝蓋掛けによる歩道整備など
  - － 無電柱化を核とした街なみ景観形成（一部2月1次補正）（再掲）
- ・ 県有施設の適切な維持管理
  - － 県有施設の耐震診断の実施 4,021万円  
伝統産業工芸館、能楽堂など7棟

（3） 持続可能な循環型社会づくり

- ・ カーボンニュートラルの実現に向けたあらゆる主体による実践
  - － いしかわ版環境ISOの推進 340万円  
家庭・学校・地域・事業者における地球温暖化防止活動の推進

- 県民一丸となった取り組みに向けた気運の醸成 1,400万円
    - 環境フェア・いしかわゼロカーボンの日における普及啓発
  - ⑧ クーリングシエルの利活用の推進 100万円
    - 熱中症特別警戒アラート発表時以外でも利用可能な施設のマップ化
  - ZEH等の普及促進 7,470万円
    - ZEH等の新築への支援(最大30万円)
  - 県庁における温室効果ガス排出削減の加速化(2月1次補正) 19億5,920万円
    - 照明のLED化(工事:17施設)、太陽光発電導入(工事:2施設)
  - 電気自動車等の普及促進(2月1次補正)(再掲)
  - ⑧ 宅配ボックスの普及促進(2月1次補正)(再掲)
  - 能登の道の駅グリーンステーション化の推進(再掲)
  - 春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発(再掲)
  - 産学官連携による炭素繊維分野の革新的な研究開発の推進(再掲)
  - 創エネ・蓄エネ分野の研究開発促進(再掲)
- 3Rの推進による循環型社会の形成
  - プラスチック資源循環の推進 50万円
    - 協定締結による使い捨てプラスチックの削減に向けた取組促進
- 水環境の保全
  - PFOS等の監視(2月1次補正) 5,783万円
    - 河川・地下水調査にかかる分析機器の導入

#### (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

- 人と動物が共生することができる社会の実現
    - いしかわ動物愛護センターの運営 1億1,961万円
      - 収容動物の飼育・訓練・治療・譲渡の実施
  - 持続可能な自然環境の構築
    - トキの放鳥に向けた取り組みの推進(再掲)
  - 適切な野生鳥獣の保護管理
    - ツキノワグマ人身被害防止対策の推進(一部2月1次補正) 5,607万円
      - ⑧ ボランティアとの協働によるクマを寄せ付けない集落づくり、緊急銃猟の実地訓練、ベテランハンターによる射撃技術向上研修、国交付金を活用した市町の取組支援(国1/2、県1/4、市町1/4など)
    - 狩猟者の確保・定着の促進 1,251万円
      - 魅力発見セミナー、アウトドアイベントなどでの狩猟ブースの出展など
  - 自然公園の保護と利用の好循環の形成
    - 白山の魅力向上・発信の強化(一部2月1次補正) 1億4,682万円
      - 低山ガイドツアーの開催、室堂宿泊施設(御前荘)や登山道の危険箇所の修繕

## 7 デジタル活用の推進

### (1) デジタル活用の基盤整備

- 石川県広域データ連携基盤の運用 7,100万円

- － 市町の基幹業務システム標準化・ガバメントクラウド移行への支援 1,760万円  
移行後の運用も含めた専門家による助言・相談

(2) 社会全体のDX推進

- － デジタル活用ものづくり支援センターを拠点としたDXの取組支援(再掲)
- － 早稲田大学を代表校とするスマートエスイーIoT／AI石川スクール(再掲)
- － デジタルマップを活用した戦略的誘客の推進(再掲)
- － デジタルマーケティングを活用した観光情報の発信(再掲)
- － ㊦ 除雪業務の効率化・省力化(再掲)
- － ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(一部2月1次補正)(再掲)
- － 公立学校児童生徒の1人1台端末の更新(一部2月1次補正)(再掲)
- － ㊦ 高校入試ウェブ出願システムの運用開始(再掲)
- － ㊦ 県内金融機関と連携した地域のキャッシュレス化と地元消費の拡大(2月1次補正)(再掲)

## 8 カーボンニュートラルの推進

(1) 幅広い産業分野におけるGX推進

- ・ 成長分野としてのグリーン分野への参入
  - － 春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発(再掲)
  - － 産学官連携による炭素繊維分野の革新的な研究開発の推進(再掲)
  - － 創エネ・蓄エネ分野の研究開発促進(再掲)
- ・ 環境保全型農業の推進
  - － 農業者と消費者双方の理解促進や栽培技術の普及拡大(再掲)

(2) 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進

- － ZEH等の普及促進(再掲)
- － 能登の道の駅グリーンステーション化の推進(再掲)

(3) 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進

- － 電気自動車等の普及促進(2月1次補正)(再掲)
- － ㊦ 宅配ボックスの普及促進(2月1次補正)(再掲)

(4) カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

- － いしかわ版環境ISOの推進(再掲)
- － 県民一丸となった取り組みに向けた気運の醸成(再掲)

## 9 効率的・効果的な行財政運営の推進

(1) 県民の視点に立った行政サービスの提供

- － 石川県広域データ連携基盤の運用(再掲)
- － 県有施設の耐震診断の実施(再掲)

(2) 県政を担う人財の確保・育成と多様な働き方の推進

- － 職員の多様なキャリア形成支援とエンゲージメントの向上  
職位に応じたキャリア研修の実施、  
働きやすい職場づくりのための職員意識調査の実施など
- － カスタマーハラスメント対策 901万円  
㊦通話録音機器の設置(一部再掲)